

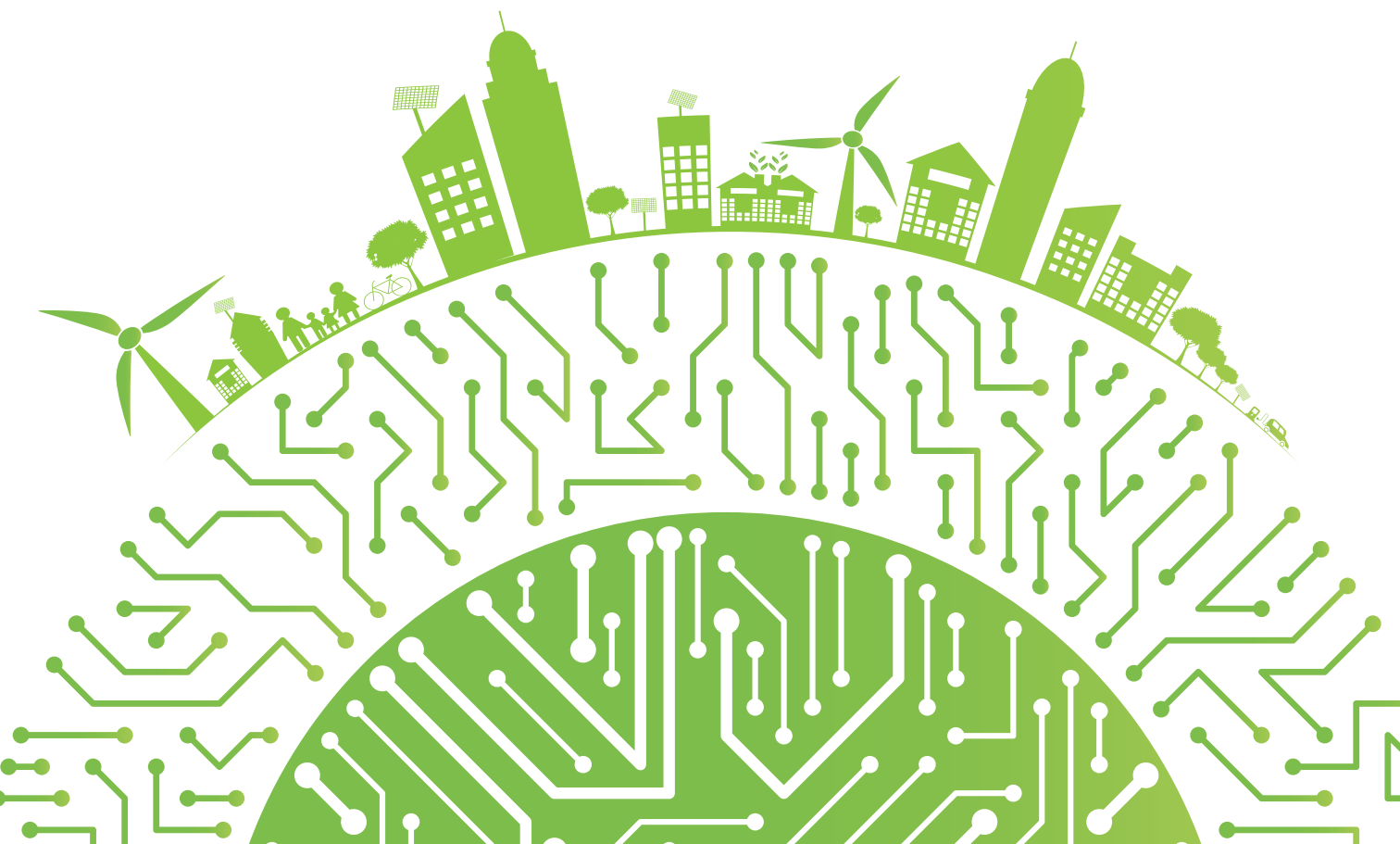
日本シイムケイ株式会社

証券コード:6958

CMK
Creating the future

第59期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで





株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第59期中間期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)における概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長 大澤 功

第59期上期業績について

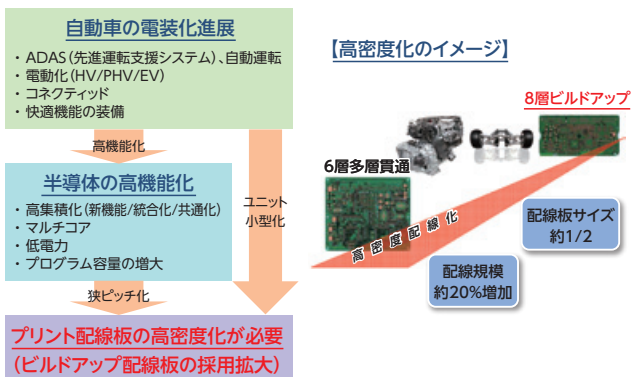
当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、総じて回復基調にあり、企業所得と実質所得が共に堅調に推移しました。海外では、中国は安定的な成長を維持しており、米国では企業部門が堅調であり、欧州では内需が下支えした経済成長が続きました。一方で、米中貿易摩擦の激化に伴い、引き続き世界経済には不透明感が残っています。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、ガソリン車の電装化率上昇に加えて、安全意識の高まりによる先進運転支援システム(ADAS)の普及、環境規制強化によるPHVやEVへのシフト加速などにより、需要拡大を続けております。

当社グループは、車載向けを中心に受注増加が継続しており、生産能力拡大に向けた設備投資を実施するとともに、生産性向上を進めております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は447億69百万円(前年同期比6.6%の増収)となりました。

利益面につきましては、米ドルに対する人民元・タイバーツの通貨高が影響し、中国および東南アジア地域の業績を圧迫しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は17億91百万円(前年同期比16.2%の減益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常利益は18億5百万円(前年同期比9.0%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億79百万円(前年同期比27.6%の減益)となりました。

■車載分野におけるビルドアップ配線板の採用拡大



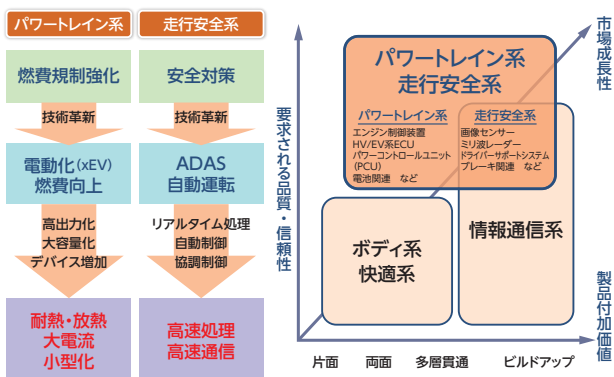
今後の見通しについて

当社主力の車載分野は、今まさに100年に一度の大変革時代を迎えており、今後ますますコネクティッド、自動運転、モビリティ、電動化が進展していくものと考えております。このような自動車の電装化進展により、プリント配線板の需要はますます拡大していくものと予測しております。

特に、高付加価値製品であるビルドアップ配線板の需要拡大が見込まれております。自動車の高機能化により、搭載される半導体についても高集積化などの機能向上が進んでおり、半導体の端子ピッチがより狭くなることから、より高密度なプリント配線板が求められています。加えて、自動車に搭載される電子デバイスが増加していることから、ユニットの小型化も必要となっており、高密度かつ小型なビルドアップ配線板の採用拡大が続いております。

また、車載分野の中でもエンジンやブレーキ、予防安全装置などが含まれるパワートレイン・走行安全系の分野については、要求される品質・信頼性が最も高く、参入障壁が非常に高い分野です。パワートレイン系については、燃費規制強化

■車載分野におけるパワートレイン・走行安全系のトレンド



に伴い、電気自動車やハイブリッド車の普及が加速しておりますが、これにより、高出力インバーターやバッテリー監視システムなどが必要となることから、耐熱や放熱、大電流対応の重要性が増しています。また、走行安全系については、安全対策などのためにADASが普及拡大を続けておりますが、自動ブレーキなどの機能実現のためには、リアルタイム処理や自動制御が必要不可欠となり、高速処理や高速通信に対応したプリント配線板が必要となっております。

以上のことから、パワートレイン・走行安全系の分野については、高スペック化が進むのと同時に、より一層求められる品質・信頼性のレベルが上がるものと考えております。

このような中で当社は、プリント配線板専門メーカーとして50年以上、車載分野においては30年以上の供給実績があり、製品の品質・信頼性に強みがあると認識しております。

また、技術や経験の蓄積に裏付けられた解析能力や顧客対応スピード、安定した財務基盤に基づく長期の製品供給・保証体制についても、優位性があると考えており、これらの強みに磨きをかけることで、競争優位性を維持・強化してまいります。

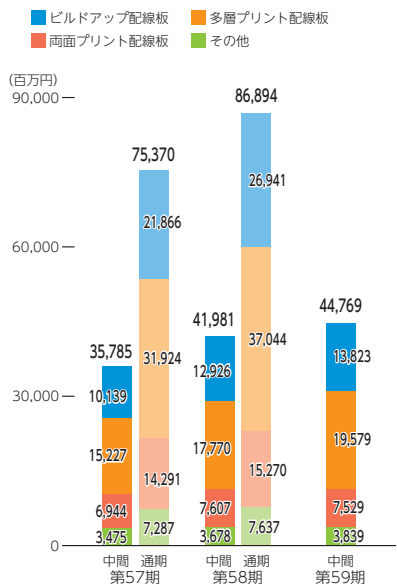
POINT

車載向けを中心に
受注増加が継続

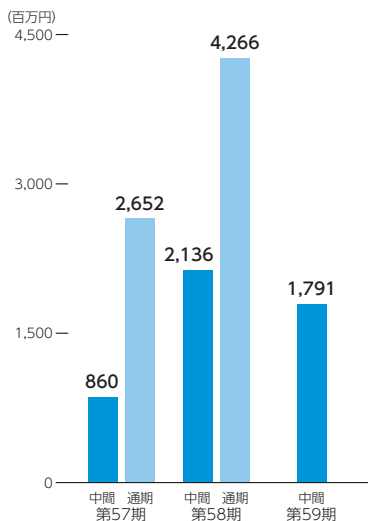
POINT

米ドルに対する人民元・タイバツの
通貨高が業績に影響

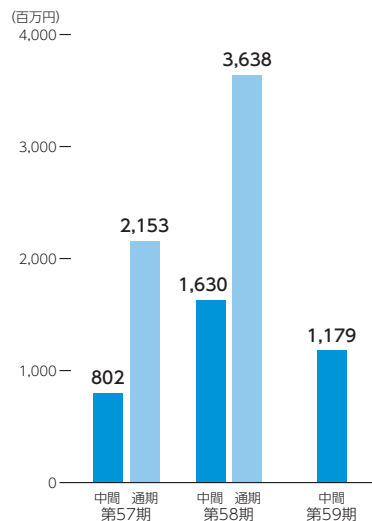
売上高



営業利益



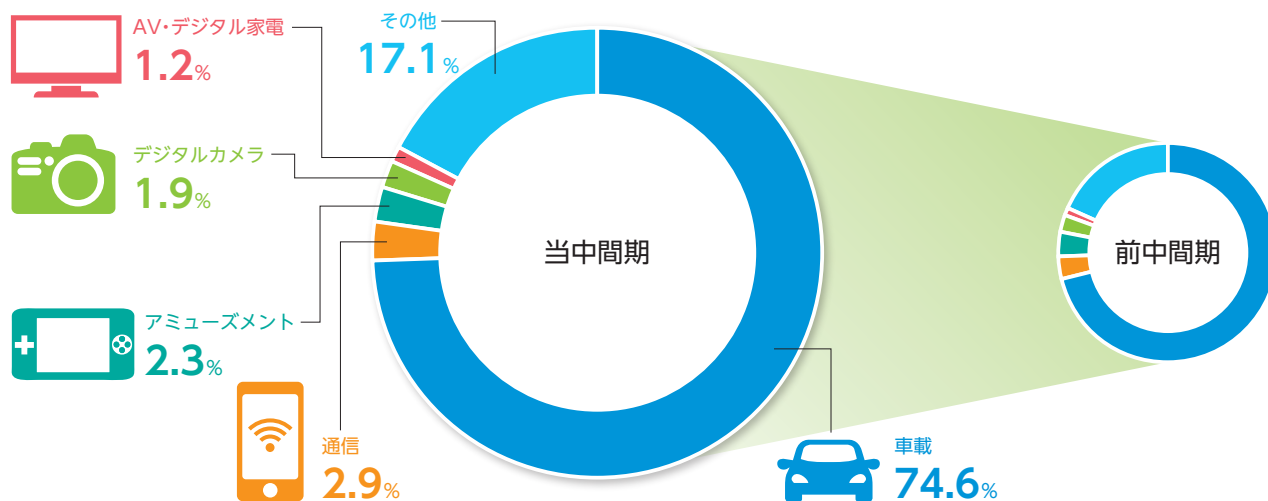
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



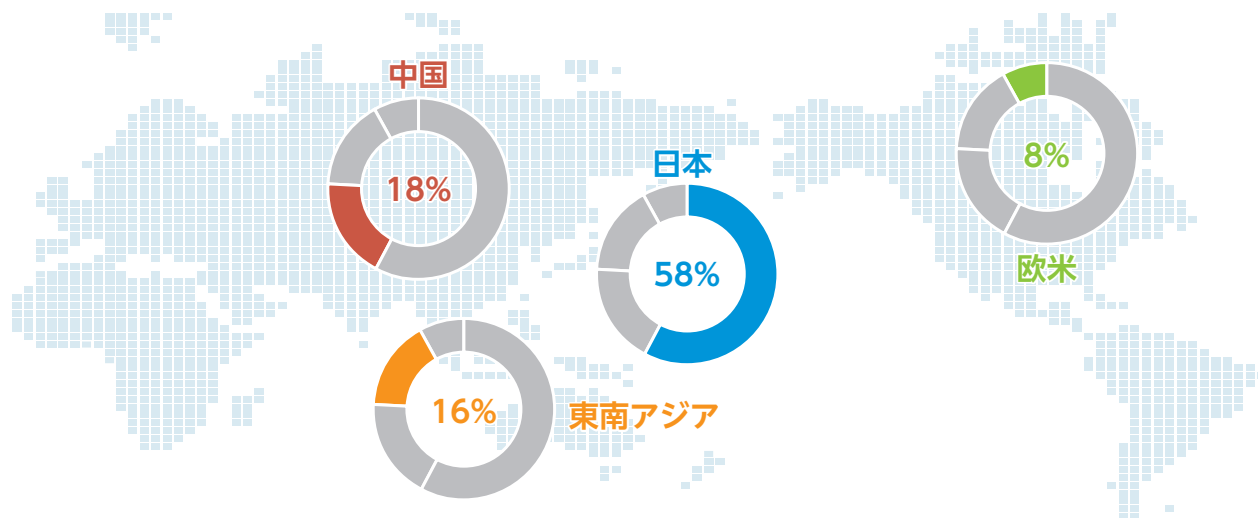
当社グループは、車載向けを中心に受注増加が継続しており、生産能力拡大に向けた設備投資を実施するとともに、生産性向上を進めております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は447億69百万円(前年同期比6.6%の増収)となりました。

利益面につきましては、米ドルに対する人民元・タイバツの通貨高が影響し、中国および東南アジア地域の業績を圧迫しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は17億91百万円(前年同期比16.2%の減益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常利益は18億5百万円(前年同期比9.0%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億79百万円(前年同期比27.6%の減益)となりました。

用途別売上高の概況



所在地別売上高の概況



海外工場の生産能力増強を実施中

CMK無錫(ビルドアップ)

車載分野におけるビルドアップ配線板の需要増加に対応するため、現状比

約20%の生産能力増強投資を実施中

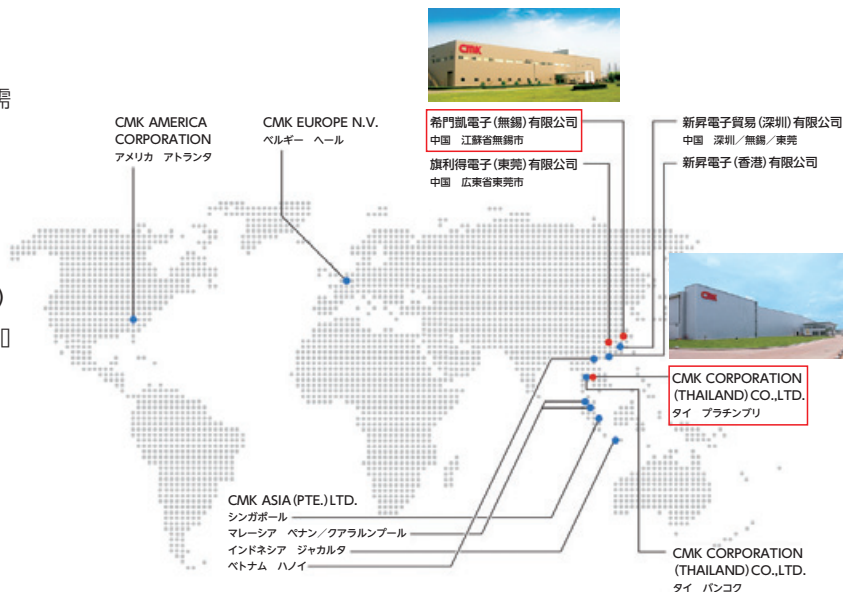
(平成31年3月完了予定)

CMKタイ(両面・多層貫通・ビルドアップ)

パワートレイン・走行安全系などの需要増加に対応するため、現状比

約25%の生産能力増強投資を実施中

(平成30年12月より順次稼働予定)



ホームページをリニューアルしました

平成30年11月に当社ホームページをリニューアルいたしました。

当社のことをよく知ってもらうために「What's CMK?」(CMKとは?)というコンテンツを追加し、IRや製品技術、採用などの見たい情報にすぐ到達しやすいよう導線の整理およびページの充実を図りました。是非、ご活用ください。

<https://www.cmk-corp.com>



会社概要

商号 日本シイエムケイ株式会社
(証券コード6958 日本CMK)
創立 1961年(昭和36年)2月25日
資本金 223億620万3,140円
従業員数 1,221名(CMKグループ4,730名)
役員

取締役および監査役		
代表取締役会長	高井建郎	
代表取締役社長 執行役員会議長	大澤功	
取締役 常務執行役員	黒沢明	
取締役 常務執行役員	柴田栄造	
取締役執行役員	花岡仁志	
社外取締役	右京強	
社外取締役	佐藤りか	
常勤監査役	小笠原敬	
社外監査役	原口文雄	
社外監査役	大高由紀夫	
執行役員		
執行役員	石坂嘉章	
執行役員	河島正紀	
執行役員	佐藤弘幸	
執行役員	中山明治	
執行役員	萩原正芳	
執行役員	松尾朋則	
執行役員	松尾直樹	
執行役員	和田知良	

主要な連結子会社

国内

- シイエムケイ・プロダクツ株式会社
- シイエムケイファイナンス株式会社

海外

- CMK ASIA (PTE.) LTD.
- CMK CORPORATION (THAILAND) CO., LTD.
- 新昇電子(香港)有限公司
- 新昇電子貿易(深圳)有限公司
- 旗利得電子(東莞)有限公司
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- CMK AMERICA CORPORATION

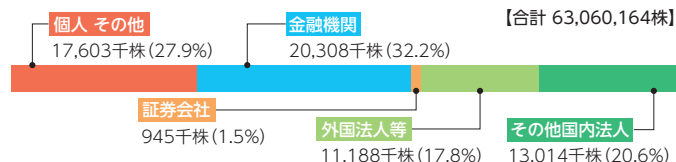
株式の状況

発行可能株式総数 227,922,000株
発行済株式総数 63,060,164株
株主数 8,321名
単元株式数 100株
大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,851	6.5
中山高広	2,836	4.7
株式会社みずほ銀行	2,576	4.3
一般財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	4.2
第一生命保険株式会社	1,895	3.2
中山明治	1,886	3.1
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託きらぼし銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1,745	2.9
株式会社三井住友銀行	1,613	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,334	2.2
第一リアルター株式会社	1,302	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式3,862,930株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別 株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.cmk-corp.com
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同連絡先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買増・買増、配当金受取方法の指定等について
・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関(日本証券代行)へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元未満株式の買増・買取制度のご案内

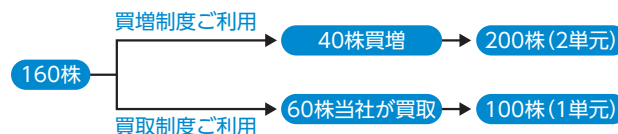
当社の単元株式数は100株となっておりますので、単元未満株式(100株未満の株式)については市場で売ることができません。

当社では「単元未満株式買増制度」および「単元未満株式買取制度」を設けておりますのでご案内申し上げます。

買増制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しをご請求いただける制度です。

買取制度 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる制度です。

具 体 例 株主様が160株をご所有の場合



※当社では、単元未満株式の買増・買取手数料を無料としております。ただし、特別口座以外の口座管理機関(証券会社)でお取引された場合、取次手数料が発生する場合がありますので、詳細はお取引のある証券会社にご確認ください。

お手続きなどの詳細につきましては

[証券会社に口座を開設されている株主様]

口座を開設されている証券会社にお問合せください。

[証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)]

日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)にお問合せください。



当社ホームページのご案内

企業情報や製品情報を掲載しております。

<https://www.cmk-corp.com>

CMK

〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー43F
電話 03-5323-0231 (大代表)

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

